
青のスナイパー

蒲公英

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

青のスナイパー

【Nコード】

N6640Q

【作者名】

蒲公英

【あらすじ】

夜の少年のヒトリゴト。ストーリーではなく、眩きです。

てめえなんざ死んじまえと思ったところで、誰も死にやしないし
自分に都合の良い人間だけで社会ができているわけじゃないってこ
とは

一応わかつては、いる

一番に苛つきをぶつけやすい親が、俺を捨てたら生きてはいけない
ことも

一応わかつては、いる

仲間意識ばかり強いクセに、ぜんぜん信用のおけない奴らと
上辺の楽しさだけで一緒にいても、苛つきが増すばかりだってことも
多分わかつては、いる

自分の声が体いっぱいに轟めきあって俺を焦らせる

いつになったら俺は自分の声から解放されるのだろう
大人になる日が明日とわかっていれば解放されるのか
夢中になれる何かを探せと言われるけれど
それは探せば見つけられるものなのか

不確実な未来に見える不確実な俺

ありふれた妥協の生活の中で、ふやけた顔をして笑う

ああはなりたくないと思う、大人たちと同じ顔をしている

ありきたりな幸福ならいらなんて思いながら

ありきたりの不幸にすら立ち向かう力はない

夜の窓ガラスに映った歪な自分に、指で作った銃口を向ける

(後書き)

お読みくださって、ありがとうございます。

共感、いただけただけでしょうか？

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n6640q/>

青のスナイパー

2011年7月16日06時57分発行